

予算の主な使われ方

主要事務事業の概要

ふるさと納税促進事業

ふるさと納税の促進に向けて、外部委託によるプロモーションの充実、返礼品開発、配送管理などを行う

除排雪車両購入事業

冬期間における安全で快適な道路交通を確保するため、経年劣化した除雪車両（除雪ドーザ）の更新を行う

ゼロカーボン推進事業

2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティしもかわ」の実現に向けて、地球温暖化対策実行計画を策定し、二酸化炭素排出削減に向けた調査や取り組み、普及啓発活動を推進する

有害鳥獣捕獲従事者確保事業

捕獲従事者の担い手を確保（地域おこし協力隊制度活用）し、野生鳥獣被害の予防につなげる

農業振興事業

フルーツトマトの半養液栽培に係る資材費のほか、IoT技術を取り入れたスマート農業を推進するため、施設園芸に設置する環境制御装置及び灌水ナビの導入経費を支援する

危機管理対策事業

災害時に要援護者が迅速に避難できるための支援体制を整えるため、避難行動要支援者個別計画を作成する

公営住宅整備事業

- ・元町団地建設
1棟5戸
- ・末広団地駐車場整備

快適住まいづくり促進事業

快適な住環境を確保するため、住宅の取得・改修・解体などに対して補助を行う

中小企業振興事業

中小企業振興対策として、経営基盤強化、起業化促進、事業承継などに対して補助を行う

下川浄水場整備事業

下川浄水場の更新に向けた建設工事などを行う（浄水場建設、送水管敷設など）

下川浄化センター整備事業

ストックマネジメント計画に基づき、浄化センターの汚泥処理設備の改修を行う（ポンプ、制御盤など）

G I G Aスクール構想事業

G I G Aスクール構想を推進するとともに、ICT支援員による学校のICT環境を推進する

令和5年度各種会計予算については、予算審査特別委員会へ付託され、3月9日・10日・13日の3日間で審査を行いました。予算審査の冒頭では、副町長より、「令和5年度は、統一地方選挙の年であり、骨格予算編成となるが、本町の特性を活かした産業の振興、町民生活の安全・安心の確保、町民福祉の向上などを念頭に、第6期総合計画に掲げる「2030年における下川町のありたい姿の実現」と財政運営基準である「基礎的財政収支（プライマリーバランス）」の黒字化を目指し、「第6期総合計画の着実な推進」「効率的で効果的な行財政運営の推進」「積極的な情報公開と町民の理解」「働き方改革とデジタル化の推進」を基本方針として、予算編成を行ってきている。

政策予算は、改選後に補正予算で計上予定であるが、町民の暮らしに支障が出ないよう新規事業を一部計上しながら継続事業を中心に編成しており、基本的に骨格予算編成としている。

予算執行に当たっては、各種補助金などの財源確保に努め、最終的な基金繰入金は可能な限り抑制するよう努力し、年度末により多くの基金を確保していきたい。」との説明がありました。

その後、所管課ごとに推進施策、事業概要などの説明を受けながら審査を行い、最終日には理事者に対し総括質疑を行いました。（予算審査特別委員会の内容については4～5ページに掲載しています。）